

授業科目 生活と健康	区分・教育内容		
	基礎分野 人間と生活、社会の理解		
授業担当者 奥山真寿美（専任教員）	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	15 時間
授業の目的 地域社会や日常生活との関わりの中で、人々の健康課題を考える能力を養う。			
授業の目標 1. 地域社会の成り立ちについて理解する。 2. 日常生活と健康について理解し、生活習慣から発生する健康課題を記述することができる。 3. ライフサイクルと健康課題について概説できる。 4. 個人、家族、集団、組織へと発展する情勢と健康の変化について説明できる。			
授業概要 本科目学習の最終目標は、健康を地域社会生活と関連させて理解を深め、健康的な生活支援をすることにある。その達成のために、1) 地域社会の構造と変動、2) 健康とは何か、3) ライフサイクルと健康、4) 生活習慣と健康、5) 最近の健康課題等について学ぶ。			
授業計画(進め方) 1 回目 社会の成り立ちや社会変動を学習し、生活の場の理解を深める 2 回目 日常生活と健康について考える 3 回目 様々なライフスタイルを理解する（グループワーク） 4 回目 ライフスタイルと健康への影響を理解する 5 回目 ライフステージと健康、家族の役割と機能を理解する 6 回目 集団の特性と社会資源について理解する 7 回目 健康行動を理解するための理論とモデルを理解する QOLについて考える 8 回目 筆記試験			
テキスト ナーシンググラフィカ 健康と社会・生活 メディカ出版 公衆衛生がみえる 2018-2019 第3版 メディックメディア			
参考書・指定図書 基礎看護学「健康科学概論」 ヌーヴェルヒロカワ			
評価の方法 レポート課題 30%、筆記試験 60%、出席およびグループワーク等の参加姿勢 10%			

